

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

第1 概要

令和6年度の畜産をめぐる情勢は、円安等により配合飼料価格の高止まりに加えて輸入粗飼料価格も引き続き高値で推移し、物価高が畜産物の消費・価格に悪影響を及ぼしており、畜産経営、特に大家畜経営にとっては引き続き大変厳しい状況となった。

そのような中、我が国の畜産業界においては、人材確保や後継者不足、労働環境の改善、アニマルウェルフェアへの対応、家畜衛生対策といった課題が山積している。

特に家畜衛生面では、近隣諸国において口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱等の悪性感染症が継続的に発生する中、国内では高病原性鳥インフルエンザが継続発生しており、本県における令和7年1月の13事例187万羽に及ぶ殺処分を含め、3月末現在で14道県51事例において発生し、約932万羽が殺処分された。また、豚熱については、飼養豚へのワクチン接種が進められ本県での発生はないものの、国内では発生が継続しており引き続き注意が必要である。一方、アフリカ豚熱については、日本から50kmほどしか離れていない韓国釜山での発生もあり、日本に侵入するリスクが非常に高まっている。これら悪性感染症の農場への侵入を防ぐため、引き続き、より一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。

このため、国・県においては、畜産関連に大型予算を措置し、畜産クラスター事業をはじめ、担い手に対する重点的な各種施策を推進するとともに、家畜防疫・衛生対策や飼料高騰対策に関しても積極的な支援が実施されたところである。

こうした状況の下、当協会は会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。

公益目的事業1においては、和子牛価格の継続的な下落に伴い黒毛和種で第1四半期から3期連続して肉用子牛生産者補給金を交付し、肉用牛肥育経営安定制度では引き続き全品種での発動となり補填金を交付した。公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、生産基盤拡大支援、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行い、公益目的事業3においては、畜産経営体支援、家畜防疫支援等に取り組み、本県における畜産振興を図った。

第2 会議及び人事関係等

1 総会

(1) 定時総会 令和6年6月27日(木) (オンラインと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議 事

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認に関する件

(2) 臨時総会 令和7年3月26日(水)

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議 事

報告事項

1 令和6年度収支予算補正に関する件

- 2 令和7年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
議 案
- 第1号議案 令和7年度会費徴収に関する件
第2号議案 役員の報酬に関する件
第3号議案 役員の補欠選任に関する件

2 理事会

(1) 第1回理事会 令和6年6月12日(水) (オンラインと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、1項目について報告した。

議 事

議 案

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算の承認に関する件
第2号議案 会社役員賠償責任保険(D&O保険)の契約更改に関する件
第3号議案 令和6年度定時総会開催に関する件
報告事項 職務執行状況等

(2) 第2回理事会 令和7年2月17日(月) (みなし決議)

令和7年2月6日(木)付けで提案された議案について審議し、みなし議決により承認を得た。

議 事

- 第1号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件
第2号議案 肉用牛肥育経営安定制度に係る積立金管理者指定に関する件

(3) 第3回理事会 令和7年3月12日(水) (オンラインと併用)

大津橋ビル5階大会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議 事

報告事項 職務執行状況に関する件

議 案

- 第1号議案 令和6年度収支予算補正に関する件
第2号議案 令和7年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第3号議案 令和7年度会費徴収に関する件
第4号議案 令和7年度歳計現金預入先に関する件
第5号議案 令和7年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
第6号議案 役員の報酬に関する件
第7号議案 令和7年度予防注射料金に関する件
第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
第9号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務委託団体に関する件
第10号議案 肉用子牛生産者補給金制度第8業務対象年間における肉用子牛1頭当たりの負担金の額に関する件
第11号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る協会手数料に関する件
第12号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の一部改正に関する件
第13号議案 肉用牛肥育経営安定制度に係る事務委託先に関する件
第14号議案 肉用牛肥育経営安定制度に係る事務手数料に関する件
第15号議案 役員の補欠選任に関する件
第16号議案 臨時総会の招集に関する件

(4) 第4回理事会 令和7年3月26日(水)

大津橋ビル5階大会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議 事

- 第1号議案 業務執行理事の選定に関する件
- 第2号議案 事務局長の任免に関する件
- 第3号議案 諸規程の一部改正に関する件

3 監事会

定期監査 令和6年6月4日(火)

大津橋ビル5階小会議室において、令和5年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4 役員の状況

区 分	年度当初 (R6年4月1日)	役員補選	増 減		年度末 (R7年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	—	1	1	9
監 事	3	—	—	—	3

(令和6年3月31日理事1名辞任、令和6年4月1日理事1名就任)

5 会員の状況

年度当初会員数：19会員

年度末会員数：19会員

6 職員数 (令和7年3月31日現在)

職 員 10名(出向職員1名< >内) 嘱託職員 1名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
事務局次長	1	—	1
総務管理課	2	—	2
経営安定課	2 <1>	—	2 <1>
畜産振興課	4	1	5
計	10 <1>	1	11 <1>

(事務局次長は総務管理課長・経営安定課長を兼職)

7 関係機関等の会議出席状況（県域以上）

年 月 日	場 所	会 議 名 等
R 6. 4. 9~10	東 京 都	(中央畜産会)第1回中央打合せ会
6. 4.19	名 古 屋 市	畜産ICT全国事業推進会議 (WEB)
6. 4.19	名 古 屋 市	愛知県農業会議担当者打合会
6. 4.22	名 古 屋 市	畜産課事業説明会
6. 4.24~26	名 古 屋 市	国際養鶏養豚総合展2024
6. 5. 9	名 古 屋 市	肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議 (WEB)
6. 5.10	名 古 屋 市	(中央畜産会)第1回経営指導方針検討委員会 (WEB)
6. 5.13	名 古 屋 市	愛知県養鶏協会監査会・理事会
6. 5.14~15	東 京 都	畜産特別資金全国推進会議
6. 5.17	名 古 屋 市	生乳安全安心東海地域協議会
6. 5.28	名 古 屋 市	エコ畜産事業に係わる全国説明会 (WEB)
6. 5.29	名 古 屋 市	地域養豚生産衛生向上対策支援事業委員会 (WEB)
6. 6. 4	名 古 屋 市	愛知県いいともあいち運動推進協議会
6. 6. 5	東 京 都	(中央畜産会)衛生指導部関係全国事業推進会議
6. 6. 5	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会第1回役員会
6. 6. 7	東 京 都	(中央畜産会)第1回理事会(理事長)
6. 6.10	名 古 屋 市	名古屋コーチン協会総会
6. 6.12	名 古 屋 市	愛知県養豚協会定時総会
6. 6.14	東 京 都	(中央畜産会)経営分析支援システム研修会
6. 6.17	名 古 屋 市	愛知県養鶏協会総会
6. 6.17	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会通常総会
6. 6.24	東 京 都	(中央畜産会)定時総会(理事長)
6. 6.25	名 古 屋 市	愛知県農業会議通常総会(理事長)
6. 7. 2	名 古 屋 市	みかわ牛銘柄推進協議会総会
6. 7. 9	東 京 都	畜産クラスター事業全国推進会議
6. 7.12	岡 崎 市	第1回畜産フェスタ打合せ会議
6. 7.19	名 古 屋 市	生乳の安全安心愛知県地域協議会(WEB)
6. 7.24	岡 崎 市	愛知県特定家畜伝染病県域防疫研修会
6. 7.25	名 古 屋 市	畜産ICT、楽酪GO会議(WEB)
6. 7.26	名 古 屋 市	愛知県畜産協議会担当者打合会
6. 7.31	東 京 都	(中央畜産会)第2回経営指導方針検討委員会
6. 7.31	岡 崎 市	全国和牛能力共進会第1回愛知県対策協議会
6. 8. 1	名 古 屋 市	(中央畜産会)管理責任者等研修(WEB)
6. 8. 1~2	東 京 都	(中央畜産会)総括畜産コンサルタント研修
6. 8. 8~9	東 京 都	(中央畜産会)女性職員研修
6. 8.19	岡 崎 市	愛知県死亡牛処理推進協議会
6. 8.22	名 古 屋 市	愛知県水田農業検討会議
6. 8.22	名 古 屋 市	自民党県支部連政策懇談会
6. 9. 3~4	豊 橋 市	肉用牛肥育経営安定対策alic現地調査
6. 9. 3	岡 崎 市	第2回畜産フェスタ打合会議
6. 9.10	岐 阜 県	岐阜県家畜伝染病防疫演習
6. 9.10	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会第2回役員会
6. 9.11	東 京 都	(中央畜産会)第1回管理者研修(公益法人運営)
6. 9.12	名 古 屋 市	東海ブロック畜産協会連絡協議会
6. 9.17	名 古 屋 市	愛知県農林漁業人権問題啓発推進連絡会議
6. 9.19	名 古 屋 市	家畜防疫・衛生指導対策事業東海ブロック業務推進会議
6. 9.27	名 古 屋 市	愛知県畜産振興議員連盟総会

年 月 日	場 所	会 議 名 等
6.10. 1~2	大 阪 府	畜産特別資金ブロック推進会議
6.10. 3	名 古 屋 市	(中央畜産会)第3回管理者研修(採用関係)(WEB)
6.10. 4	名 古 屋 市	愛知県養豚協会セミナー
6.10.12	岡 崎 市	畜産フェスタ
6.10.15	名 古 屋 市	みかわ牛枝肉共励会
6.10.17	東 京 都	(中央畜産会)家畜防疫互助基金全国会議
6.10.17	岡 崎 市	全国和牛能力共進会第1回愛知県出品対策委員会
6.10.25	弥 富 市	馬事畜産振興推進会議打合せ
6.10.27	大 府 市	たまニコ2024愛知大会
6.11. 1	名 古 屋 市	地方競馬ミルクウィーク説明会(WEB)
6.11. 1	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度全国会議
6.11. 5	名 古 屋 市	愛知県農業会議創立70周年記念大会
6.11. 7	岡 崎 市	人権問題の講演と映画の会
6.11.10	岡 崎 市	愛知県ホルスタイン共進会
6.11.14	名 古 屋 市	J R A 畜産振興事業調査研究発表会(WEB)
6.11.15	名 古 屋 市	畜産ICT・楽酪GO打合会議(WEB)
6.11.15	名 古 屋 市	全国公益法人協会セミナー
6.11.18	岡 崎 市	畜産フェスタ反省会
6.11.19	新 城 市	愛知県和牛改良協会第3回役員会
6.11.22	東 京 都	肉用牛肥育経営安定交付金制度全国会議
6.11.26	東 京 都	(中央畜産会)畜産クラスターコーディネーター応用研修
6.11.28	名 古 屋 市	全国優良畜産経営管理技術発表会(WEB)
6.11.29	東 京 都	(中央畜産会)第3回経営指導方針検討委員会
6.12. 5	名 古 屋 市	畜産近代化リース業務打合せ会議(WEB)
6.12.10	名 古 屋 市	愛知県畜産振興議員連盟知事要請
6.12.11	岡 崎 市	肉用子牛・牛マルキン県内担当者推進会議
6.12.12	豊 橋 市	あいち牛枝肉共励会
6.12.13	名 古 屋 市	(中央畜産会)国内技術研修(生産技術解説)(WEB)
6.12.16	東 京 都	地方競馬全国協会事業説明会
6.12.19	弥 富 市	畜産フェア(名古屋競馬場・愛知県畜産特別競走)
6.12.20	名 古 屋 市	愛知県畜産技術業績発表会
6.12.24	豊 橋 市	あいち家畜市場担当者会議
7. 1.22	名 古 屋 市	あいちのとり肉・タマゴ消費拡大実行委員会設立書面議決
7. 1.28	名 古 屋 市	高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会議(WEB)
7. 1.29	名 古 屋 市	畜議連・農政議連に対する鳥インフルエンザ対策緊急要請
7. 2. 4	名 古 屋 市	(中央畜産会)第2回中央打合会(WEB)
7. 2. 6	東 京 都	地域養豚生産衛生向上対策支援事業委員会
7. 2.10	名 古 屋 市	生乳安全安心東海地域協議会
7. 2.14	東 京 都	(中央畜産会)第3回経営指導方針検討委員会
7. 2.17	名 古 屋 市	愛知県畜産振興議員連盟総会
7. 2.18	名 古 屋 市	(中央畜産会)経営分析支援システム研修会応用編(WEB)
7. 2.19	名 古 屋 市	畜産特別資金全国推進会議(WEB)
7. 2.20	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会第4回役員会
7. 2.27	東 京 都	畜産クラスター事業全国推進会議
7. 3.13	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会第5回役員会
7. 3.14	弥 富 市	地方競馬ミルクウィーク(名古屋競馬場)
7. 3.19	岡 崎 市	愛知県死亡牛処理推進協議会
7. 3.22~23	常 滑 市	あいちのとり肉・タマゴ消費拡大イベント
7. 3.26	名 古 屋 市	愛知県農業会議臨時総会

第3 事業関係

1 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る事情や生産資材価格の状況の変化等が国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営における粗収益が生産コストを下回った場合に補填金等を交付し、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国の定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金及び機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

- ・委託団体数 13団体 契約生産者 182者
- ・調査指導等 29日 (延べ29団体)
- ・令和6年1月～12月 個体登録頭数 6,242頭

- ・肉専用種 2,110頭
- ・肉専その他 0頭
- ・乳用種 928頭
- ・交雑種 3,204頭

① 生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 182者	内訳：個人経営 137者、組合法人 4者、会社法人 41者
------------	-------------------------------

② 事務委託先

区分	団体名
農協連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
その他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 生産者積立金造成実績 (R6.1～R6.12)

【生産者積立金単価】登録日：6カ月齢－1日(積立は四半期毎) (単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	400	400	800	1,600
その他肉専用種	4,700	4,700	9,400	18,800
乳用種	1,700	1,700	3,400	6,800
交雑種	800	800	1,600	3,200

・生産者積立金造成実績 (R6.1～R6.12)

(単位:円)

区 分	単価	頭数	造 成 額 内 訳			合 計
			生産者 負担金	県生産者 積立助成金	機構生産者 積立助成金	
黒毛和種	1,600	2,110	844,000	844,000	1,688,000	3,376,000
その他肉専種	18,800	0	0	0	0	0
乳用種	6,800	928	1,577,600	1,577,600	3,155,200	6,310,400
交雑種	3,200	3,204	2,563,200	2,563,200	5,126,400	10,252,800
計	—	6,242	4,984,800	4,984,800	9,969,600	19,939,200

<四半期別平均売買価格>

(単位:円)

区 分		令和5年度	令和6年度		
		第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
黒毛 和種	保証基準価格	556,000	564,000	564,000	564,000
	合理化目標価格	439,000	444,000	444,000	444,000
	平均売買価格	562,200	発 541,400	発 498,900	発 521,900
その他 肉専種	保証基準価格	325,000	328,000	328,000	328,000
	合理化目標価格	256,000	258,000	258,000	258,000
	平均売買価格	発 232,100	算定期間は1年(4月～翌3月)		
乳用種	保証基準価格	164,000	164,000	164,000	164,000
	合理化目標価格	110,000	110,000	110,000	110,000
	平均売買価格	173,600	177,500	201,700	201,300
交雑種	保証基準価格	274,000	274,000	274,000	274,000
	合理化目標価格	216,000	216,000	216,000	216,000
	平均売買価格	347,700	318,500	299,500	329,400

(注)平均売買価格の欄の「発」は、保証基準価格を下回り補給金が交付されたもの。

・生産者補給金交付実績

(単位:円)

区 分		令和5年度	令和6年度		
		第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
黒毛和種	頭数	358	304	451	461
	単価	0	22,600	65,100	42,100
	金額	0	6,870,400	29,360,100	19,408,100
乳用種	頭数	226	231	298	235
	単価	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0
交雑種	頭数	811	748	876	844
	単価	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0

イ 肉用牛肥育経営安定制度

畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛の交付金の交付等業務を、農林水産大臣指定の積立金管理者として(独)農畜産業振興機構と連携して実施し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、制度に参加する肉用牛生産者に対して肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和するため、機構の肉用牛肥育経営安定交付金(3/4)と生産者積立金からの補填金(1/4)による肉用牛交付金の交付を行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者 145者
- ・調査指導等 13日 (延べ11団体、2者)
- ・令和6年4月期～令和7年3月期 個体登録頭数 19,327頭 (17か月齢頭数)

- ・肉専用種 4,036頭
- ・交雑種 13,913頭
- ・乳用種 1,378頭

① 生産者補填金交付契約締結者(肉用牛肥育経営安定交付金制度登録生産者)

契約生産者 145者	内訳：個人経営 87者、組合法人 3者、会社法人 55者
------------	------------------------------

② 委託先団体

区分	団体名
農協連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (8)	あいち知多農協、あいち中央農協、西三河農協、あいち三河農協、愛知東農協、ひまわり農協、愛知みなみ農協、豊橋農協
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
その他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肉用牛肥育安定基金造成実績 (R6.4～R7.3)

【基金造成単価(生産者負担金)】

(単位：頭、円)

区分	令和5年度(注)		令和6年度		計	積立月 (達する月)
	単価	頭数	単価	頭数		
肉専用種	14,000	10	10,000	3,817	38,310,000	25ヵ月齢
交雑種	17,000	9	13,000	13,648	177,577,000	22ヵ月齢
乳用種	14,000	0	10,000	1,417	14,170,000	18ヵ月齢
計	—	19	—	18,882	230,057,000	—

(注) 令和5年度2、3月早期販売個別請求牛は、令和6年4、5月積立

④ 肉用牛交付金の交付実績

・肉用牛交付金交付実績(単位：頭、円)

区分	1月期精算*	R6.2月期	3月期	4月期	5月期	
肉専用種	頭数	194	255	219	304	251
	単価	6,571.6	27,086.4	79,322.4	12,593.7	35,070.3
	金額	1,274,890	6,907,011	17,371,593	3,828,468	8,802,625
交雑種	頭数	946	1,103	1,116	1,234	1,019
	単価	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0
乳用種	頭数	119	123	129	143	125
	単価	6,683.2	18,615.6	35,480.7	19,021.5	34,847.1
	金額	795,300	2,289,714	4,577,005	2,720,070	4,355,884
計	頭数	1,259	1,481	1,464	1,681	1,395
	うち交付	313	378	348	447	376
	金額	2,070,190	9,196,725	21,948,598	6,548,538	13,158,509

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉 専 種	頭 数	229	331	233	263	307
	単 価	60,416.1	42,389.1	67,719.6	61,638.3	0.0
	金 額	13,835,276	14,030,778	15,778,650	16,210,855	0
交 雑 種	頭 数	960	1,154	1,046	1,118	1,176
	単 価	23,265.9	38,994.3	3,827.7	5,550.3	3477.6
	金 額	22,335,215	44,999,370	4,003,738	6,205,188	4,089,616
乳 用 種	頭 数	134	161	135	140	138
	単 価	41,036.4	49,389.3	53,922.6	52,113.6	42,574.5
	金 額	5,498,872	7,951,673	7,279,545	7,295,899	5,875,279
計	頭 数	1,323	1,646	1,414	1,521	1,621
	うち交付	1,323	1,646	1,414	1,521	1,314
	金 額	41,669,363	66,981,821	27,061,933	29,711,942	9,964,895

区分		11月期	12月期	1月期(概算)	合 計
肉 専 種	頭 数	370	651	228	3,835 (うち交付 2,279)
	単 価	0.0	0.0	0.0	—
	金 額	0	0	0	98,040,146
交 雑 種	頭 数	1,197	1,415	987	14,471 (うち交付 5,454)
	単 価	0.0	0.0	0.0	—
	金 額	0	0	0	81,633,127
乳 用 種	頭 数	124	128	83	1,682 (うち交付 1,682)
	単 価	39,900.6	40,308.3	46,238.6	—
	金 額	4,947,670	5,159,458	3,837,800	62,584,169
計	頭 数	1,691	2,194	1,298	19,988
	うち交付	124	128	83	9,415
	金 額	4,947,670	5,159,458	3,837,800	242,257,442

(注) R6. 1月精算払は、R6年5月交付。2～12月期とR7. 1概算払は、R6年4月～R7年3月交付。

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対しては畜産物への理解醸成を行い、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

- ① 地域畜産支援指導等強化対策 (愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)
 - ・畜産経営、衛生対策、支援指導などの体制強化、各種アンケート調査、当協会のホームページ更新(最終更新 2/17)
 - ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援(交付決定 4/1)
 - ・畜産クラスター事業に関する畜産経営体調査(全国推進事業)等の実施
 - ・経営技術指導の一環として図書の斡旋
- ② 生産技術情報提供 ((公社)中央畜産会委託金)

家畜の生産性を向上させるための農家指導を実施し生産基盤の強化を図った。

 - ・家畜の生産性に係るデータの収集・指導：1回 対象：肉牛農家1戸(新城市)
- ③ 畜産特別資金等推進指導 ((公社)中央畜産会補助金)

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。

 - ・現地検討会・指導会の実施 田原市 5回(5/29、7/30、9/27、11/29、1/27)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回 令和7年3月17日 名古屋市
- ④ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財)畜産近代化リース協会委託金)

畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。

 - ・指導の実施 2回(1/30、2/6)
 - ・調査指導件数 10戸14基 (令和7年1、2月)
大府市1戸、西尾市2戸、豊田市1戸、田原市6戸
 - ・普及啓発資料作成 230部
- ⑤ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社)中央畜産会委託金)

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。

 - ・事業参加承認 14協議会 14件 122,637千円(補助金額)
 - ・現地確認調査 2件(12/17 西尾市、1/16 田原市)
- ⑥ 畜産経営体生産性向上(畜産ICT) ((公社)中央畜産会委託金)

畜産経営体生産性向上対策(畜産ICT)事業の機械装置導入の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業参加要望の調査や提出書類の点検等を実施し、畜産農家の労働負担軽減・省力化を推進したが、経営体の事業参加はなかった。

 - ・県域窓口団体として要望・申請とりまとめ等

- ⑦ 酪農経営支援総合対策（労働省力化）（(公社)中央畜産会委託金）
酪農労働省力化施設整備対策事業の機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業参加要望の調査を実施した。
- ・ 県域窓口団体として説明・要望・申請とりまとめ等
 - ・ 1 応援会議 1 件 27,200 千円（補助金額）
- ⑧ 優良繁殖用雌牛更新加速化（肉用牛）（(一社)全国肉用牛振興基金協会委託金）
和牛繁殖経営基盤の強化を図るため、高齢の繁殖雌牛から増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛に更新した場合に奨励金を交付する事業について、県域窓口団体として取りまとめ等を行った。
- ・ 交付実績：13 経営体 31 頭 3,150 千円
- ⑨ 地域畜産支援指導等体制強化（(公社)中央畜産会委託金）
- ・ 畜産農場における未利用資源の活用に関する講演会の開催（1/20 岡崎市）
 - ・ 生産者や関係団体からの各種相談、問合せ事項等に応じた情報収集分析・助言
 - ・ 生産者や関係団体からの各種要望について、県内調整のうえ県・国に要請
 - ・ 地方競馬開催の支援促進として、畜産フェスタにおいて、一般来場参加者を対象に愛知県畜産特別競走など名古屋競馬場開催レースをPR
競馬PR資材の配布（マスク・蛍光ペン・パンフレット等）
競馬の模擬体験レースを行的中者等に県産畜産物をプレゼント
- ⑩ 家畜防疫・衛生指導対策（(公社)中央畜産会助成金）
家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動を推進するよう防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫活動の推進を図った。また、家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要な農場HACCP認証の取得推進及び農場HACCP認証に向けた構築指導を推進した。
- 地域自衛防疫推進
- ・ 推進会議 2回：9/24 名古屋市 3/11 書面開催
 - ・ 県域防疫演習 1回：7/24 岡崎市
 - ・ 地域防疫演習 3家保管内 18 関係機関 26 農場：稲沢市、尾張旭市、岩倉市、半田市、常滑市、大府市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市
- 地域農場HACCP認証支援
- ・ 認証構築指導 実績なし
 - ・ 農場HACCP普及推進会議 11/26 県立農業大学校（岡崎市）
- ⑪ 地域養豚生産衛生向上対策（(公社)中央畜産会助成金）
養豚農場における生産性を著しく阻害する疾病（PRRS）の発生を低減し、まん延を防止させるため、地域自衛防疫組織等に対し、防疫対策等に係る経費の助成を行った。
- ・ 地域推進会議 2回：6/17 岡崎市、11/27 田原市
 - ・ 田原市PRRS撲滅委員会 3回：6/3、9/3、11/6 田原市、
 - ・ 研修会 1回 11/27 田原市
 - ・ PRRSモニタリング検査 抗体検査 2,394 検体、遺伝子検査 887 検体、
遺伝子解析 151 検体
 - ・ 全国委員会 2回：5/29 名古屋市(WEB)、2/6 東京都千代田区
- ⑫ 愛知県和牛改良協会の事業推進指導（愛知県和牛改良協会委託金）
地方審査員の資格を持つ職員が、登録業務の推進と農家経営指導を実施した。
- ・ 登録業務及び経営指導 3回

- ⑬ 畜産物輸出対応生産円滑化支援 ((一社)日本畜産物輸出促進協会委託金)
畜産物の輸出拡大に向け、相談窓口を設置し、輸出に対する生産者の理解醸成や意識向上を図るための普及啓発資料を配布した。

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

- ① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社)中央畜産会助成金)
乗用馬の飼養衛生管理向上のため、乗用馬関係者を対象に飼養衛生管理技術講習会や馬獣医療実態調査を実施した。
- ・地域委員会 1回：12/11 名古屋市
 - ・地方講習会 1回：12/11 名古屋市
 - ・馬獣医療実態調査 35施設 (54施設に照会)

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

- ① 畜産物に関する理解醸成・情報提供 (名古屋競馬株式会社寄付金など)
消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、畜産フェスタや名古屋競馬場における畜産フェアの開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供やアドバイスを実施した。
- 畜産フェスタの開催
10/12 愛知畜産総合センター 来場者：約1,600名
 - ・名古屋けいばの競走DVDにより競馬の模擬体験レースを行い、的中者等に県産畜産物(うずら卵燻製・はちみつ・食パン、コーチン肉製品等)をプレゼント
 - ・名古屋けいばの重賞競走等日程を記載したマスク入りマスクケース(1,000個)、地方競馬PRハズレット・クリアファイル・ボールペン(100セット)を配布
 - 畜産フェアの開催(2回)
12/19 名古屋競馬場
 - ・冠協賛レース(愛知県畜産特別競走)の実施
 - ・入場者にあいちの畜産品をプレゼント(400セット)
3/14 名古屋競馬場、サンアール名古屋(旧競馬場)
 - ・地方競馬ミルクウィークに協賛し、冠レースで競馬支援
 - ・入場者にあいちの牛乳乳製品をプレゼント(600セット)
- ② 国際養鶏養豚総合展2024への出展 ((公社)中央畜産会事業収益)
令和6年4月24日～26日にポートメッセなごやで開催された国際養鶏養豚総合展2024に愛知県畜産協会ブース(名古屋コーチン協会ブース・乳飲料等販売ブース)を出展し、愛知県の畜産・畜産物をPRした。

エ 畜産に関する表彰事業

- ① 高橋養鶏賞顕彰 (高橋養鶏賞顕彰事業基金)
高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。
- ・高橋養鶏賞選考委員会 令和6年5月9日
 - ・第49回高橋養鶏賞受賞者 岡崎市 宮本大介(普及部門)
 - ・高橋養鶏賞表彰式 令和6年6月27日
- ② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰 (自己資金)
家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。
- ・3団体催事 賞状3点 副賞7点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業
厳しさを増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

- ① 肉用牛経営災害緊急支援対策 ((独)農畜産業振興機構補助金)
災害による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼働のための非常用電源の整備に係る助成。
 - ・補助対象及び補助額 実施なし
- ② 和子牛生産者臨時経営支援 ((独)農畜産業振興機構補助金)
肉用子牛生産者の経営悪化に対する緊急対策。
 - ・本事業は6年3月で終了。第4四半期分は6年度事業として交付
 - ・第4四半期 238頭、22,000円/頭、5,236,000円交付
 - ・6年度からは優良和子牛生産推進緊急支援事業として実施
- ③ 優良和子牛生産推進緊急支援 ((独)農畜産業振興機構補助金)
肉用子牛生産基盤の安定を図るため、低下している和子牛価格が回復するまでの間、販売された和子牛を対象として、発動基準を下回った場合、奨励金を交付した。
 - ・第1四半期 181頭、30,000円/頭、5,430,000円交付。
 - ・第2四半期 287頭、30,000円/頭、8,610,000円交付。
 - ・第3四半期 192頭、30,000円/頭、5,760,000円交付。
- ④ 愛知県粗飼料価格高騰対策支援金 (自己資金)
高騰が続いている粗飼料に係る支援金を交付し畜産農家の負担を軽減する愛知県事業の肉用牛農家の申請窓口となり、農家への周知、参加のとりまとめ等を実施。
 - ・対象農家数 147戸
 - ・対象期間 令和6年10月～7年3月に購入された輸入乾牧草・稲わら
 - ・支援金単価 (各四半期輸入粗飼料平均価格－令和3年度輸入粗飼料平均価格)
×1/2×購入数量
 - ・交付単価、交付額 7年度に交付申請をとりまとめ、支援金を交付

イ 家畜防疫支援に関する事業

- ① 家畜生産農場衛生対策 (農林水産省補助金及び手数料)
家畜の伝染病清浄化に向けた組織的な伝染病発生予防活動として、牛のヨーネ病、牛ウイルス性下痢(BVD)、牛伝染性リンパ腫(EBL)、牛サルモネラ症の感染拡大防止対策、畜産農場における飼養衛生管理の向上に向けた取り組み、アカバネ病の流行防止対策など家畜生産者による自主的な疾病対策を支援した。
 - ・疾病清浄化支援対策検討会 2回 5/24 岡崎市、9/13 岡崎市
 - ・牛疾病防疫推進講習会 1回 3/21 書面開催
 - ・EBL検査 21農場 1,468頭、吸血昆虫忌避・駆除対策 10農場
 - ・BVD P I牛の自主淘汰 1頭
 - ・ヨーネ病 自主検査 3農場 28検体 自主淘汰 なし
 - ・ワクチン接種(補助対象:アカバネ病・異常産): 5,864頭
 - ・ " (補助対象外:ボツリヌス等) : 33,680頭

② 家畜防疫互助基金支援 ((公社)中央畜産会委託金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・CSF等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成するため、加入促進を行った。特に6年度が新たな事業対象期間となるため、新たな事業対象期間に向けた加入促進を行った。

- ・前事業対象期間(令和3~5年度)返戻:牛生産者181戸、返戻金額5,714,902円。
- ・豚については、互助金未申請農場があり額が確定できず返戻手続ができない状況。

【加入状況】

(R7.3.31現在)

家畜種類	契約戸数 (戸)	加入率	契約頭数 (頭)	加入率	生産者積立金 (円)
乳用牛	83	42%	11,129	60%	2,455,665
肉用牛	143	46%	31,210	74%	3,365,110
牛計	181	—	42,339	—	5,820,775
豚	91	66%	257,772	90%	23,704,550
合計	272	—	300,111	—	29,525,325

※牛計の戸数は、乳肉複合経営を1戸カウントしているため、戸数計とは相違

※加入率は、R6.2.1畜産統計を分母とし、事業対象期間(R6~)中に廃業した生産者も契約戸数、頭数でカウントしている

③ 海外悪性伝染病対策支援 (自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜:牛、豚
- ・対象疾病:口蹄疫、牛疫、牛肺疫、ASF

④ 馬伝染性疾病防疫推進対策 ((公社)中央畜産会助成金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回(9/24、12/11)名古屋市
- ・馬インフルエンザワクチン接種助成 166頭

2 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分(面積比)により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した(事務所入居率 65.7%)。